

専門学校文化祭で自衛隊を紹介



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之¹等陸佐）は、10月8日（土）に専門学校静岡工科自動車大学校（静岡市）で行われた「工科祭2016」において広報活動を行った。

この文化祭は、日頃の学習活動の成果を発信する場として、校内予選を勝ち抜いた精鋭の学生が車両の定期整備や故障探究において速さや技術を競い合う「メカニックコンテスト」等が行われ、多くの来場者で賑わいをみせた。

当日は、静岡地本から73式小型トラックの車両展示や熊本地震に関する災害派遣活動のパネル展示を行うとともに、採用説明コーナーを設置し、自衛隊における車両整備員の役割や活躍状況等について工科自動車大学校ならではのニーズに合わせた説明を行った。

説明を聞いた学生からは「今学校で学んでいる自動車整備士の資格を自衛隊で活かすことができると初めて知った」「自衛隊の特殊車両や戦車といった車体部の整備員として活躍したい」等将来への希望の声が数多く聞かれた。

静岡地本は、今後も様々な学校行事に積極的に参加し、自衛隊の魅力や多種多様な職種をより多くの方に発信し、自衛隊という職業に理解を深めてもらうとともに、自衛隊で整備士として活躍を目指す熱意ある優秀な人材を獲得できるよう努めていく。

「子どもの遊び王国 in 沼津」を支援



自衛隊静岡地方協力本部（本部長・根本博之¹等陸佐）は、10月16日（日）、愛鷹広域公園（沼津市）で開催された「子どもの遊び王国 in 沼津」において広報活動を実施した。

これは、沼津市青少年育成団体連絡協議会が主催する「未来を担う子供たちの健全な育成」を目的としたイベントで、沼津市教育委員会からの依頼を受け、自衛隊の活動紹介や子供たちが災害について学べるブース等を設置して将来を担う子供たちへの興味や関心を振起した。会場では、昔ながらの遊びや工作、外で体を動かす遊び等約40種類の遊びを楽しむことができ、約7000人も多くの来場者で賑わいをみせた。

静岡地本は、災害時に沼津市を担当する第34普通科連隊（板妻駐屯地）とともに、災害派遣の様子を伝える防災パネルの展示、災害時にも活躍する軽装甲機動車及び高機動車の車両展示、子供用迷彩服の試着体験、自衛隊の募集制度の説明等を行った。参加した子供たちは普段目にするこのない自衛隊の活動に興味深い様子で見入り、迷彩服を試着して記念撮影するなど楽しんでいった。

静岡地本は、今後も各自治体や協力団体等と連携して将来を担う子供たちのイベントを積極的に支援し、自衛隊への興味や関心を高めるとともに、将来自衛隊を目指してもらえよう広報活動に努めていく。